テレ東HD

2027年3月期（2026年度）第2四半期（中間期）決算説明会

2026年11月12日（木）

株式会社テレビ東京ホールディングス

2027年3月期（2026年度）
第2四半期（中間期）
決算概要

© TV TOKYO Holdings Corporation

決算サマリー

2027年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績

（百万円）

	累計期間(4～9月)			
	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	79,975	75,197	△ 4,778	△ 6.0%
連結営業利益	7,060	2,470	△ 4,589	△ 65.0%
連結経常利益	7,314	2,743	△ 4,570	△ 62.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	4,954	1,904	△ 3,050	△ 61.6%
セグメント営業利益				
地上波･BS放送事業	3,395	△ 1,490	△ 4,885	―
アニメ･配信事業	3,950	4,389	439	11.1%
ショッピング･その他事業	273	333	59	21.9%

アニメ・配信好調続く
過去最高の収益達成

放送事業は
減収幅が大きく赤字

© TV TOKYO Holdings Corporation

地上波放送（テレビ東京）

2027年3月期 第2四半期（中間期） 売上高・営業利益・事業利益

（百万円）

		累計期間（4～9月）			
		26年3月期 第2四半期	**27年3月期 第2四半期**	前年同期比	
				増減額	増減率
テレビ東京	売上高	60,996	**55,463**	△ 5,533	△ 9.1%
営業利益		5,704	**1,030**	△ 4,673	△ 81.9%
放送事業 概況					
放送事業 売上(主なもの)	タイム（T）	22,457	**21,254**	△ 1,203	△ 5.4%
	スポット（S）	15,614	**11,096**	△ 4,517	△ 28.9%
	T+S 計	38,072	**32,350**	△ 5,721	△ 15.0%
	番組販売	2,098	**2,084**	△ 14	△ 0.7%
	放送事業 売上計	41,104	**35,340**	△ 5,764	△ 14.0%
放送事業 利益		10,222	**5,530**	△ 4,692	△ 45.9%
ライツ事業 概況					
ライツ事業 売上	アニメ	12,426	**12,878**	452	3.6%
	配信ビジネス	6,631	**6,292**	△ 339	△ 5.1%
	イベント	552	**755**	203	36.9%
	ライツ事業 売上計	19,609	**19,926**	316	1.6%
ライツ事業 利益		8,344	**8,977**	632	7.6%

	23年3月期 上期	24年3月期 上期	25年3月期 上期	26年3月期 上期	27年3月期 上期
総コンテンツ制作費（放送・アニメ・配信ビジネス・イベント）	24,502	24,081	26,564	26,773	26,643

放送事業

タイムは「単日売り」苦戦で減収
スポットは前年に大幅増だった反動減
先行き不透明感響く

ライツ事業

アニメはゲーム化など好調で売上高過去最高
配信も配信プラットフォーム向けの販売は好調

※総コンテンツ制作費とは放送番組制作費とアニメ・配信・イベント関連の制作費用（製作委員会への出資額等）の合計額（テレビ東京）

© TV TOKYO Holdings Corporation

業績予想修正（27年3月期通期）

（百万円）

	上期実績（前年比）	前回予想（前年比）	今回予想（前年比）
タイム収入	21,254 （△5.4%）	44,900（△1.8%）	43,694 （△4.5%）
スポット収入	11,096（△28.9%）	29,900（△5.5%）	25,947（△18.0%）
アニメ収入	12,878 （3.6%）	29,006 （6.6%）	29,006 （6.6%）
配信ビジネス収入	6,292 （△5.1%）	16,505 （18.7%）	14,526 （4.4%）
放送コンテンツ制作費	17,027 （2.8%）	33,970 （△1.7%）	33,650 （△2.7%）

連結情報

連結売上高	75,197 （△6.0%）	168,000 （1.9%）	**161,000 （△2.4%）**
連結営業利益	2,470（△65.0%）	11,500 （0.9%）	**10,000（△12.3%）**
連結純利益	1,904（△61.6%）	8,000 （3.9%）	**6,700（△13.0%）**

修正の概要

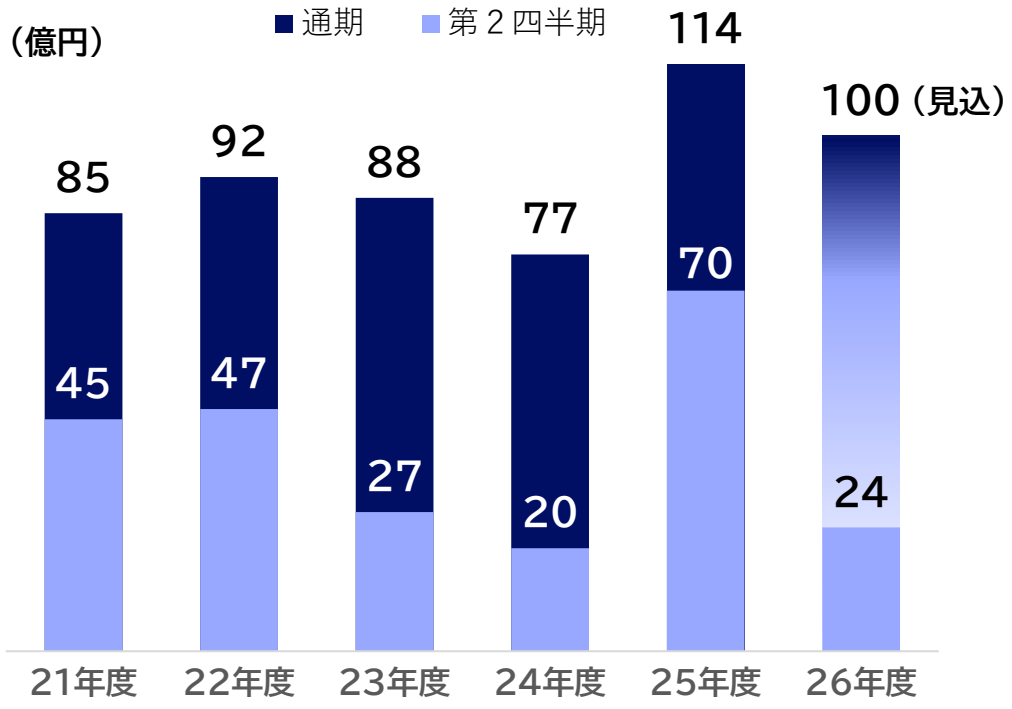
広告市況についてはしばらくは不透明な状況が続くと想定。放送コンテンツ制作費の効率的な運用につとめるが、放送事業については慎重な見通し。

ライツ部門はアニメで主力IPの事業展開を加速。配信プラットフォーム向けのコンテンツ販売が引き続き成長する見込み。

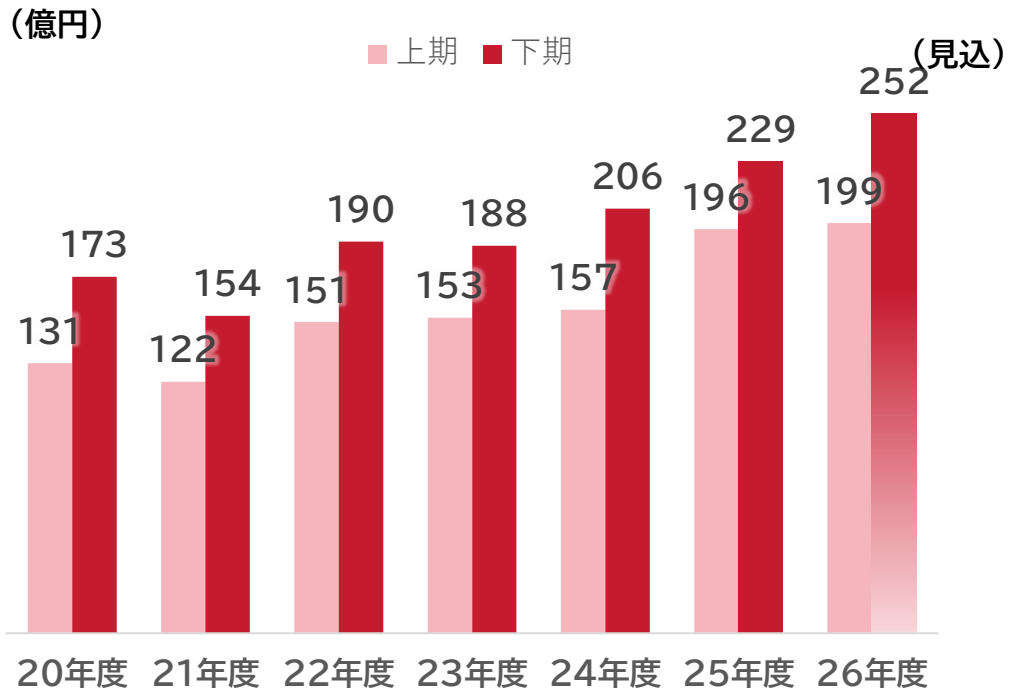
© TV TOKYO Holdings Corporation

業績予想修正（実績推移）

連結営業利益の推移



テレビ東京（単体）のライツ売上高の推移

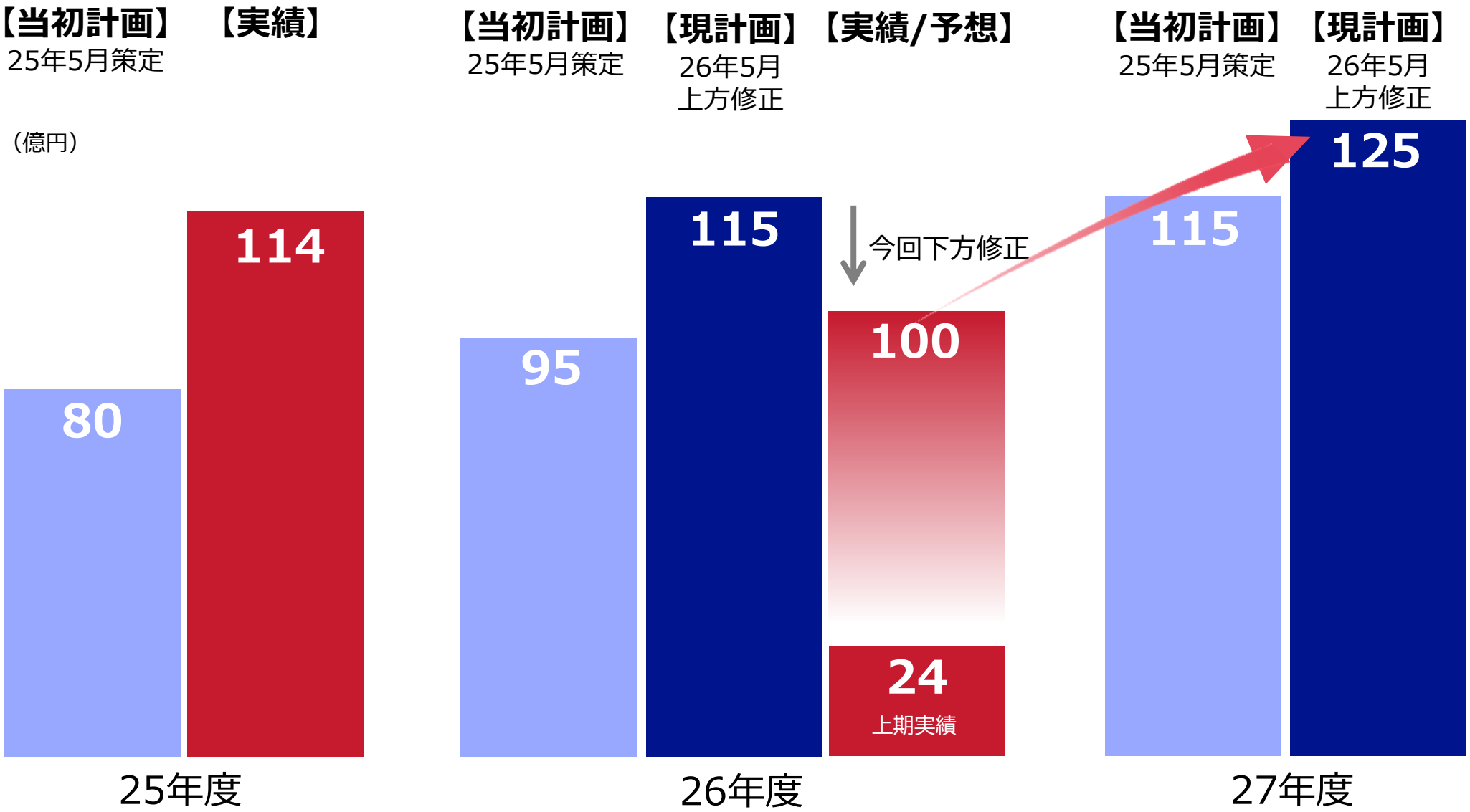


© TV TOKYO Holdings Corporation

経営計画の進捗状況

© TV TOKYO Holdings Corporation

2025-27中期経営計画　達成状況



© TV TOKYO Holdings Corporation

成長投資 CaaS戦略推進へ投資加速

Q-nine

Q-nine

eスポーツ分野の豊富なノウハウを持つQ-nineを完全子会社化。テレビ東京のメディア発信力と融合させ、大型イベントの誘致や自社イベントの企画運営を強化。CaaS戦略の重要分野であるeスポーツを次の成長エンジンに

Minto

Minto

コンテンツIPの企画・制作から海外流通まで手掛けるIPプロデュース会社のMinto。映像ライセンス輸出にとどまらずイベントやインフルエンサー施策まで手掛ける。 Mintoと連携しテレビ東京の自社IP「シナぷしゅ」を東南アジア市場で展開

フーモア

WHOMOR INC.

フーモアはグッズ制作の基となる描き下ろしイラストにおいて高い制作ノウハウを持つ。グッズ販売のポップアップショップ等を運営し、催事・EC等の販売基盤を持つことから、商品化ビジネスの強力なパートナーとなる。

Nakama, Inc.（米）

AniBiz

世界初のアニメに特化したライセンスのマーケットプレイス「AniBiz.com」を運営するNakama社。 ライセンス事業に必要な権利処理を効率化し、世界中の多様な商品化需要に対応。アニメIPの価値向上と収益機会の拡大につなげる。

© TV TOKYO Holdings Corporation

成長投資　将来に向けて投資推進、コンテンツ出資拡大

コンテンツ強化

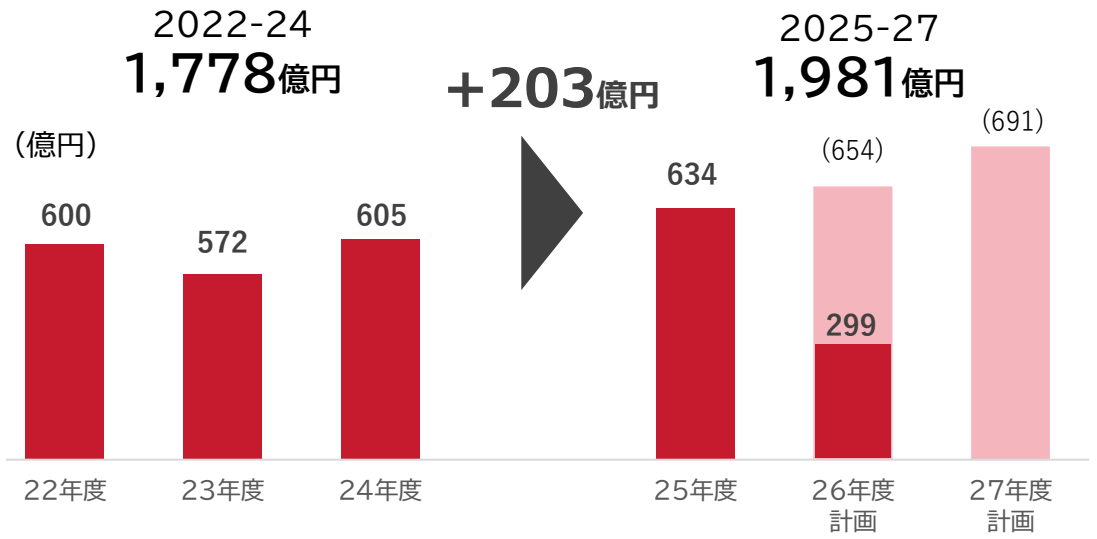
成長投資枠【200億円/3年間】

2022-24	**162億円**	資本出資	リアルマックス、DAG、U-NEXT など
		設備投資	バーチャルプロダクション、DXなど
2025-27 これまでの累計額	**70億円**	資本出資	Q-nine、Minto、フーモア、Nakamaなど
		設備投資	新会計システムグループ展開、CG設備など

総コンテンツ制作費【203億円上積み/3年間合計】

・放送番組制作費
・アニメ・配信・イベントなどの制作費用
(製作委員会への出資、権利者への配分費用等)

※総コンテンツ制作費とは放送番組制作費とアニメ・配信・イベント関連の制作費用（製作委員会への出資額等）の合計額（テレビ東京・ＢＳテレビ東京）



※テレビ東京とBSテレビ東京の総コンテンツ制作費の合計額

© TV TOKYO Holdings Corporation

アニメ 「NARUTO-ナルト-」大型グローバルプロジェクト始動

「PROJECT RASENGAN」

- 『NARUTO-ナルト-×NINKŪ-忍空-』伝説的作品とのクロスオーバー企画として完全新作アニメーションの制作が進行
- 『NARUTO-ナルト-』原作者 岸本斉史氏による新作漫画執筆の発表
- 「NARUTOカードゲーム」2027年6月に全世界で同時発売
- 大ヒット中のスマホ向け対戦アクションゲーム「火影忍者 MOBILE」の全世界での配信が決定※一部地域は除く



©岸本斉史 スコット・桐山光侍／集英社・テレビ東京・ぴえろ

© TV TOKYO Holdings Corporation

アニメ

有望タイトルを新たな柱に　収益基盤多角化

アニメ売上高　年平均10%超の成長続く

2026年



©久保帯人／集英社・テレビ東京・dentsu・ぴえろ

BLEACH

BLEACHは2026年10月、世界中のファンの熱狂の中、最終章「千年血戦篇」最終話の放送を終え、TVシリーズが完結しました。今後もメディアミックスを展開することで、コンテンツ価値の最大化を目指します。

ブラッククローバー

ブラッククローバーは、前TVシリーズより5年ぶりとなる新作を2026年10月から放送開始。放送直前にロンドンなど海外3都市で行ったカウントダウンイベントでもファンは熱狂。グローバル市場でのさらなる成長が期待されます。



©田畠裕基／集英社・テレビ東京・ブラッククローバー製作委員会



©吉崎観音／KADOKAWA・ケロロ軍曹製作委員会

ケロロ軍曹☆

―我輩はケロロ軍曹であります！

2011年以来、15年半ぶりとなるテレビアニメの新作を放送。

キャラクターデザインやキャスト陣も一新し、お送りした初回の放送当日はYahoo!およびXでトレンド1位を獲得するなど話題となりました。

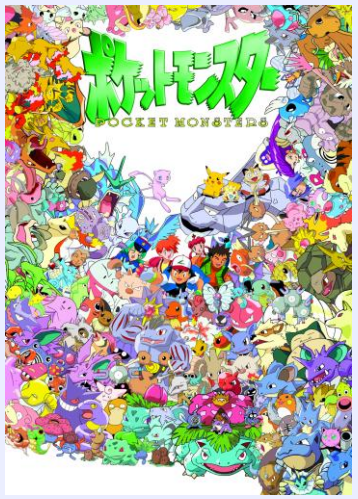


©MSK

あはれ！名作くん

2016年からNHK Eテレにて6年間放送され、YouTube総再生数5.6億回を記録した「あはれ！名作くん」。

10周年を機に、2026年7月～9月にテレビ東京でアニメ化。2027年1月からも新作を放送する予定です。今後、商品化やイベントなど幅広い展開を予定しています。





©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku ©Pokémon

2027年 ポケットモンスター 放送30周年

2026年のゲームソフト発売30周年につづき、2027年にはテレビアニメ「ポケットモンスター」が放送開始から30周年を迎えます。

子どもたちの憧れを描き続けてきた物語は、今や親から子へと受け継がれるアニメへと成長しました。

現在は新章「ワンダーボヤージュ」編を放送中。

© TV TOKYO Holdings Corporation

配信

ドラマ・バラエティIP 多方面で収益化

コンテンツ・IP マネタイズ多角化

ドラマIP
U-NEXTに加えて多様なグローバルプラットフォームと連携し、新作ドラマ販売を強化。世界配信を狙った話題性とクオリティを追及。

映画
昨年ヒットした「劇場版 孤独のグルメ」に続き人気ドラマの映画化が決定。

SVOD、AVODにとどまらないWebtoonやショートドラマ、ゲーム開発などのマルチ展開を加速。

10月ドラマ「赤灯えれじい」Disney＋でアジア配信

大阪が舞台の人気漫画が待望の実写化。放送と連動して、Disney+にてアジア地域に配信中。



©「赤灯えれじい」製作委員会



「40までにしたい10のこと」2027年1月に劇場版全国公開

昨年7月に放送し、配信だけでなくBlu-ray＆DVD BOXも大ヒットを記録した人気ドラマの映画化が決定。

©マミタ・libre／2027「劇場版40までにしたい10のこと」製作委員会

配信オリジナルショートドラマ「シェアキス」

資本業務提携したMintoと共同開発した縦型ショートドラマが9月から好評配信中。



©「シェアキス」製作委員会

© TV TOKYO Holdings Corporation

テレ東BIZ　経済報道強化の中核 WEEK企画で放送・配信連携









- **世界情勢の行方、市場動向、投資・・・**
  「経済WEEK」で報道の総力を結集
  - 10～11月「日米経済WEEK」で米中間選挙を取り上げながら世界経済を展望
  - 7月「あなたのお金を考えるWEEK」で、お金の使い方、貯め方、増やし方を考え直すきっかけとなるコンテンツを多数発信

- **「テレ東BIZ」を核に放送・配信を連携**
  - 就活生やビジネスパーソンのキャリアアップに
    テレ東が誇る膨大な“経済コンテンツアーカイブ”を活用
  - モーサテプレミアムを毎日更新。「モーサテわからん」連携イベントや「カンファレンス」実施

- **主力番組をリニューアル、新番組も登場**
  - カンブリア宮殿 20年の節目に新MC起用
  - 「アンパラレルド」「モーサテサタデー」

© TV TOKYO Holdings Corporation

シナぷしゅ　テレ東独自IP　国内外で事業を加速



親子で歌って踊れるイベント
「ぷしゅソングフェス」を全国で開催



11月に開催されるイベント
「TOKYOカルチャーデビューPARK」



赤ちゃんの生活に欠かせない
紙おむつのコラボ商品が誕生



メインキャラクターのぷしゅぷしゅが “豊田市こども・子育て応援大使”に就任



グローバルブランドを「Synap!（ｻｲﾅｯﾌﾟ）」としてグローバル市場を開拓中。

《乳幼児向けブランドを確立》

- 放送、配信、イベント、映画、音楽、商品化など多角的にＩＰを展開。ライセンシー（許諾先）は約70に上る　※2026年11月現在
- 自治体とも連携、子育て施策の認知向上にも寄与
- 「Synap!（ｻｲﾅｯﾌﾟ）」として、グローバル展開加速中。
- 資本業務提携したMintoと連携し東南アジアで配信、SNS展開。中東地域の子供向けチャンネルでフィラー（番組間）放送開始。

© TV TOKYO Holdings Corporation

営業

企画力・提案力でスポンサーニーズを捉える

- テレ東の得意ジャンルとトレンドを組み合わせたWEEKキャンペーンを展開
- 放送・配信・イベント、自在に組み合わせてスポンサーの課題を解決

経済WEEK

経済報道のテレ東の全報道番組が参加する経済WEEK。今年は“お金”と“米中間選挙”を題材に今後のグローバルな経済動向を探ります。



テレ東系あなたのお金を考えるWEEK
7月5日－7月11日
テレ東系日米経済WEEK
10月29日－11月8日

ウェルビーイングWEEK

注目されるウェルビーイング。テレ東は特番やバラエティ、報道番組などの多彩なコンテンツを発信すると同時に、番組と連動した社外イベントを実施しました。



テレ東系ウェルビーイングってなんだ？
WEEK
9月14日－9月20日

アニメWEEK

テレ東の秋はアニメ！ 今年はさらにスケールアップ!! NY、ロンドン、サンパウロからテレ東アニメで盛り上がるファンの様子を生中継しました。



テレ東アニメWEEK
9月28日－10月4日

乾杯WEEK

「いい時間、いい乾杯。～ニッポンに元気を届ける1週間～」として、明日へ踏み出す力を乾杯に込めて、ポジティブなエネルギーを日本中に届けます。



テレ東系乾杯WEEK
10月5日－10月11日

© TV TOKYO Holdings Corporation

ESG経営　社会の「幸福感」向上に貢献

- **「ウェルビーイング」を新機軸に**
  - サステナビリティ活動の新コンセプトとして、社会全体や個人の幸福、健康、充実感などを指すウェルビーイングを推進。年2回のキャンペーン展開
- **脱炭素経営を深化。ブルーカーボン創出支援**
  - 国際的な環境評価「CDP」でBランク獲得
  - グループ全体でCO2実質排出量ゼロを継続。生物多様性や海洋資源の保全のための「ブルーカーボン」プロジェクトも推進
- **人権尊重の取り組み徹底。人権デューデリジェンスを推進**
  - 「テレビ東京グループ人権方針」「人権対応ロードマップ」に沿って、サプライチェーン全体で人権尊重を徹底
  - 「テレビ東京グループ働き方に関する指針」に基づき、より働きやすい職場を目指す



『ウェルビーイングってなんだ？WEEK』キャンペーン
バラエティや報道など30番組でウェルビーイングの要素を取り入れた内容を発信。コンテンツと連動した社外イベントも実施



ブルーカーボンの取り組み
日本各地で進む藻場再生事業と連携。環境保全の最新動向を伝える番組「ブルードリーム」を放送。 25年に山口県岩国市沖で創出された「Jブルークレジット」を購入。海藻を食べ尽くし「磯焼け」の原因となるウニを採集するボランティアも実施

© TV TOKYO Holdings Corporation

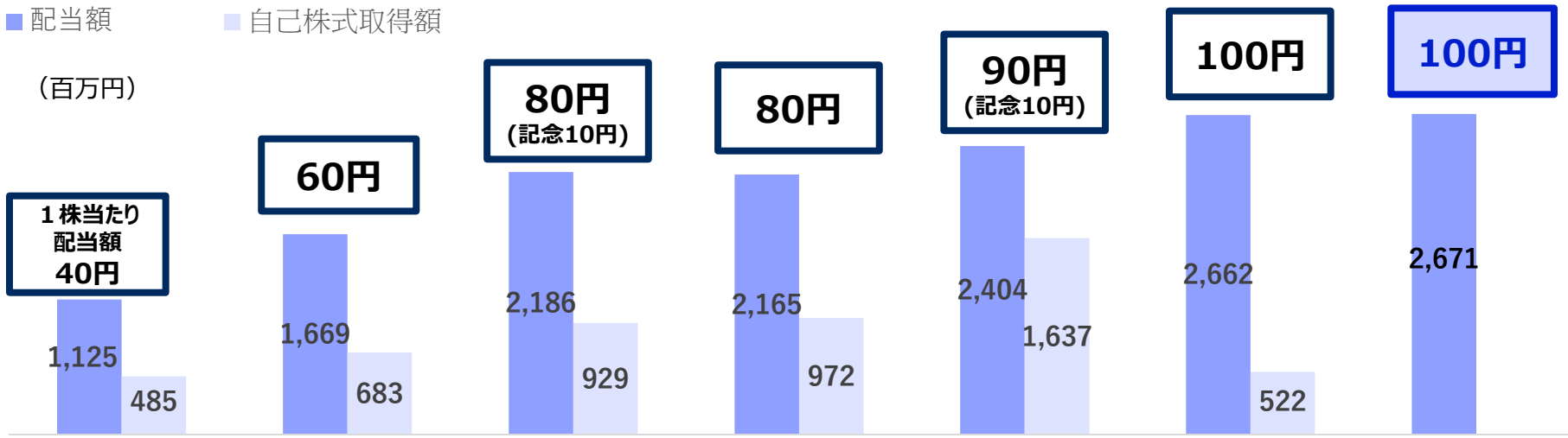
株主還元　成長に伴い株主還元方針を強化

配当方針

株主還元を重要な経営課題の一つと認識し、各ステークホルダーと成長の果実をバランスよく分け合うことを前提に、利益の拡大と連動した継続的な配当実施に努める。連結ベースで配当性向35%を目途とし、総還元性向40%程度を目指す。　※下線は26年度より適用

自己株式取得

放送会社特有の法令と規制に従いつつ、流通株式比率等を考慮して検討する。



	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期予想
配当性向	43.9%	27.9%	32.8%	32.2%	40.1%	34.6%	**39.8%**
総還元性向※	62.6%	39.1%	46.3%	46.6%	67.0%	41.4%	**40%程度を目指す**

※総還元性向＝（配当総額＋自己株式取得総額）／親会社株主に帰属する当期純利益
※27年3月期の配当性向、総還元性向の予想は、11月5日公表の通期業績予想に基づいて算出

© TV TOKYO Holdings Corporation

お問い合せ

テレ東HD

経営企画局 広報・IR部
ir@txhd.co.jp
Tel. 03-3587-3061

この資料に記載されている経営方針、計画、見通しなどは、過去の事実を除いて将来の予測であり、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する場合があります。